

デジタルサイネージプレイヤー
採用事例

株式会社ラウンドワン様

本社一括管理のデジタルサイネージシステムをリーズナブルに実現

株式会社ラウンドワン様は、大画面を利用して広報・PR活動が行えるワンダービジョンを国内各店舗に導入。“Wonder vision”（ワンダービジョン：デジタルサイネージ）へ表示するコンテンツのプレイヤーとして、『ワイヤレスデジタルサイネージプレイヤー X-5HM』（以下、X-5HM）を採用いただきました。『X-5HM』を使用し、“Wonder vision”のコンテンツ更新を本社から一括更新してご運用いただいています。

採用先プロフィール

導入先：株式会社ラウンドワン

導入製品：X-5HM × 103台

採用目的：本社一括管理の店舗サイネージ導入

導入時期：2017月春

店舗数：103店舗



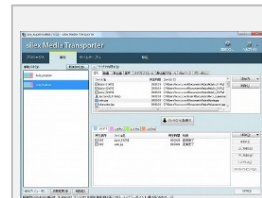
採用前の課題

- ・全国103店舗への“Wonder vision”の導入検討に伴い、機能・操作・価格の3つの条件に合ったサイネージプレイヤーを探していた。
- ・タレント起用のCMがあり、デジタルサイネージのコンテンツ放映開始時間や期間・スケジュールを本社から管理したかった。
- ・全国各店舗の店長に対し、コンテンツ更新、放映の仕方・スケジュール等について依頼をする手間がかかっていた。
- ・店舗毎に社員がSDカードに再生用コンテンツデータをダウンロードして、店舗のサイネージプレイヤーに差し替えが必要で、各店舗の社員の負担が大きかった。
- ・デジタルサイネージを導入することで、店舗内のポスターを減らしたかった。
- ・TV CMを店舗で流すスペースが無かった。



採用後のメリット

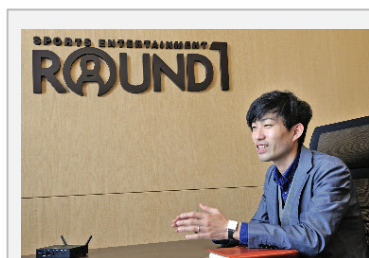
- ・毎月のデジタルサイネージのコンテンツを本社からネットワーク経由で更新出来るようになった。
- ・キャンペーン等を実施する際、すぐにコンテンツの更新が可能になった。
- ・全国各店舗の店長に対し、コンテンツの更新依頼をする手間が省けた。店長の負担軽減にもつながった。
- ・全国一斉スタートのCMコンテンツ放映など、確実な管理が本社から出来るようになった。
- ・数ヶ月先までコンテンツのスケジュール設定が事前に出来るようになった。土日は家族層、夕方は若者向けなど、時間帯や曜日によりコンテンツを変更する設定が可能となった。
- ・新聞のテレビ欄のような感覚で、簡単にコンテンツ再生スケジュールを作成出来るようになった。

コンテンツ配信ソフトウェア
silex Media Transporter®【無償】

お客様の声

“Wonder vision”は、お客様が必ず通る動線に設置し、デジタルサイネージとして活用しています。デジタルサイネージを二次利用してタイアップ企業のCMを特定エリアの店舗に放映するなどのコントロールも行っています。“Wonder vision”（トリックアート）は、観光地などにある「顔出しパネル」のようなものをイメージしました。家族層を中心としたお客様に撮影を楽しんでいただいています。

『X-5HM』の操作は簡単で、毎月の定期的なコンテンツ更新も安心して利用しています。今後はポスターのデジタルサイネージ化を進める事で、業務の効率化とコスト削減を広げたいと思っています。また、タイアップ企業の広告スペースとして店舗のデジタルサイネージを益々活用していきたいです。

株式会社ラウンドワン
経営企画本部 チーフ ブランドマネジメント部
稲田翔吾 様

“Wonder vision”の中に『X-5HM』を設置。

採用製品
紹介デジタルサイネージプレイヤー
X-5HM

- ・無線LANでもストレスフリーな操作性
- ・テンプレートから選択 多彩な画面表示
- ・HDMIケーブル1本で高画質フルHD画像と音声出力が可能

